

酒田市男女共同参画推進センター

No.89

ウィズ・レター

目次 ▼ウィズサポーターチェリア塾参加報告 ▼ウィズ講座の報告
▼委託講座のお知らせ ▼ウィズ図書新刊のご案内



『チェリア塾基本コース in 村山』に ウィズサポーターの“山崎真弓さん”が参加しました！

今年度、ウィズサポーターの勉強会として、山形県男女共同参画センター「チェリア」主催の「平成29年度女性の人材育成事業：チェリア塾基本コース in 村山」（6月10日から9月30日まで5回連続講座）に、ウィズサポーターの山崎真弓さんが参加しました。ウィズサポーター会議で参加報告会を行っていただいたことで、スタッフ・サポーターの意識が変わり今後の事業運営に明るい兆しが見えてきました。今回は参加した山崎さんの声を紹介いたします。

★チェリア塾に参加したきっかけ

みなさん、男女共同参画ということをどのように認識していますか？言葉としてはむずかしいイメージがしますが、実はわたしたちの身近なところで生じていることがいっぱいあります。

わたしは、結婚に関わる仕事をしていますが、例えば世の中が変わってきたなあと思うこと。結婚をしたいと思っているのに、経済的な理由や出会いの機会の不足で結婚に至らない人もいれば、結婚はしなくてもよいと選択する人もおり、女性の自由な生き方も尊重されなければならない時代になっています。

また、共働き世帯だとしても「家事育児は女性の役割」と考えている人がまだまだたくさんいますよね。カップルがデートして、食事代は男性が支払うべき？ 医師やパイロットは男性の仕事？ 看護師や客室乗務員は女性の仕事？ 無意識のうちに性別役割分担をしていることが当たり前と思っている社会でもありますね。町内会、子ども会、PTA、職場、学校、家庭では、どうですか？ わたしは、男女の社会的性差をなくし多様性を認めるジェンダーレスに向けた取り組みに興味があり、昨年チェリア塾基本コースで学んで、目から鱗が落ちるくらいの気づきをいただきました。

今年、庄内地域でチェリア塾基本コースが開催されるようです。一緒に学んでみませんか？

（山崎 真弓）

平成30年度の『チェリア塾』は庄内で開催されます。

詳しくは、新年度のチェリアホームページ、酒田市広報5月1日号でご確認下さい。

ウイズ講座報告

『女性のこころとからだ講座』

11月18日（土）開催 講師：後藤 敬子さん（酒田市健康課・保健師）

仕事や家事・育児と何かと忙しい子育て世代の女性を対象に、市健康課の後藤敬子さんを講師にお招きし、「女性のこころとからだ講座」と題してご講義いただき、15名が参加しました。

後藤先生は、ご自身の体験を基にお話され、「体も大事だけど心も大事にして、楽しく前向きに生きよう」という思いが、心の中にずっと入ってきて、笑いありうるっと涙ありの、あつという間の2時間でした。ご講演後、先生と参加者が意見交換を行い充実した講座を開催することができました。

～はじめに～

日本一やさしい専門の助産師になる決意もそこそこに23歳で結婚、3人の子どもを授かった。子育てにおいては、2番目の子を送り出すときに、手をかけ過ぎてきたことに気づいた。子どもには、「手をかけて！声をかけて！目をかけて！」（子どもが小さい時には手をかけて、少し大きくなったら声だけをかけて、また大きくなったら目だけをかけて。）が大事。ひとりで生きられる力を与えることが必要だと強調した。仕事においては、八幡病院・保健福祉課・病棟勤務・訪問看護と幅広く勤め、助産師として赤ちゃんを抱き上げる迎え人となり、訪問看護では在宅で看取る送り人？となるなど、仕事を通してたくさんの人生経験を得た。「人間って生きながら最後のステージを決めているんだなあと思う。」と語った。

◆こころとからだについて大切なこと

- ・健診・予防接種は“か・な・ら・ず”受けよう。
- ・いつものことだからと我慢しないで、体からのサインを見逃さないようにしよう。
- ・BMIをキープすることが大事。短時間でもからだを動かそう。
- ・30代40代は壮年期、たまには旅をするなど、体に潤滑油をさすようにメンテナンスしよう。
- ・人間の体の構造は、前に目がついていて、つま先も前に向いているので私たち人間は前向きにできている。
「私は前向きなの！前を見ているの！」と思っただけで、からだがシャキシャキする。前向きに生きよう。
- ・心が潤うっていいこと。旦那さんに「ありがとう」「ごめん」と言おう。
- ・自分を好きになることが大事。小さなことでもいい、だれかのために何かやろう。気づけば気づくほどキラキラ輝いて自分が好きになる。

◆おわりに

クリスハートのCDの一曲（さだまさし「いのちの理由」）をかけながら命の大切さを語り、「健康で、こころもからだもキラキラと輝く30代40代であってほしい。」とメッセージをいただきました。



参加者のアンケートから

・多くの女性に聞いてもらいたい話でした。自分自身ももう少し早く聞く機会があったら…と思ってしまいます。/・たくさんの経験に基づいて表現豊かにお話してくださったので、とても楽しく聴けてずっと心に入ってきました。/・女性の生き方、からだの変化に対する心構えなどがわかりやすかった。/・先生の元気な話を聞いて更年期を一気に乗り越えたいと思った。

ウィズ講座報告

平成29年度 デートDV防止講座

『ステキな二人でいるために』～デートDVのない恋をしよう～

講師：伊藤 眞知子さん（東北公益文科大学教授・大学院公益学研究科長）

講師：岸井 綾子さん（庄内ちえりあ・山形県男女共同参画審議会委員）

講師補助：阿部 まゆみさん（酒田市健康課・保健師）

酒田市では、DVについて学生を対象に意識啓発を行い、被害の未然防止に努めるために本講座を開催しました。今年度は酒田南高等学校、酒田看護専門学校、酒田光陵高校の3校から共催の申込みがあり、講師に東北公益文科大学教授・大学院公益学研究科長の伊藤眞知子さんと、伊藤先生の推薦講師である庄内ちえりあ・山形県男女共同参画審議会委員の岸井綾子さんを招き、下記日程にてご講義いただきました。DVは身近な問題として捉え、他人事と思わないことが大切と説き、暴力以外の解決方法があるにもかかわらず、暴力という間違った方法を選んだことが問題であり、加害者の頭の中、認識の中にあるということを強調しました。自分も相手も大事にする関係「お互いに尊重できる対等なフラットな関係を作っていたきたい。」と語り、相手を尊重する大切さを学びました。

平成29年 9月 8日（金）開催

共 催：酒田南高等学校

参加者：180名（一学年・教職員）

講師：岸井 綾子 氏



平成29年 9月 14日（木）開催

共 催：酒田看護専門学校

参加者：57名（一・二学年・教職員）

講師：岸井 綾子 氏



平成30年 2月 1日（木）開催

共 催：酒田光陵高等学校

参加者：360名（一学年・教職員）

講師：伊藤 眞知子 氏

講師補助：阿部 まゆみ 氏



参加者のアンケートから

・お互いを尊重しながら自分の意見を伝えることが大切だということが分かった。/
・デートDVのことだけでなく人間性など他にもいろんなことを学べた。/
・デートDVは身近なことだと思った。自分は改めて会話やLINEでの言葉使いに気をつけていきたいと思う。/
・人の接し方について、改めて考えることができた。/
・これからの人生で活かしていきたいと思う。とてもためになった。/
・とても分かりやすい説明で、よく理解することができた。/
・また機会があれば、もっと詳しく聞いてみたいと思った。

平成29年度男女共同参画推進事業
委託講座のお知らせ

『子どもは未来の宝物』

講師：工藤 ひとし 氏（元中学校教師）～私たちおとなにできることは何かを一緒に考えましょう～

【講師プロフィール】2014年3月で38年間の教職員生活を定年退職。公立中学校校長職として11年間勤務。この在籍中にCAPプログラムを学校経営に活かす。現在は新潟県学校生活共同組合本部専務理事・公益財団法人新潟教育会新潟教育研究所教育アドバイザー、いじめ第三者委員会委員長などとして活躍。◇執筆・著書：『ライフスキルを育む思春期の心と体 授業事例集 日本学校保健会推薦』（東京法令出版）、『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料～中学校編～』（文部科学省日本学校保健会出版）。

日時：平成30年3月31日（土）13：30～15：30

場所：酒田勤労者福祉センター（酒田市緑町19-10）2階 第二・三研修室

対象：どなたでも参加可能（参加無料）※できるだけ事前にお申し込みください。

託児：無料（要申込み）

主催：CAP（キャップ）庄内

申込み・問い合わせ先：CAP 庄内事務局 Tel.080-5575-1605 メール cap1605@ezweb.ne.jp



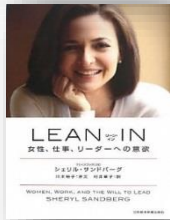
ウィズ図書コーナーのご案内

- 貸出は1人5冊まで、2週間以内に返却
- 場所：1階交流ひろば図書コーナー



『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』 著者：西原 理恵子

本書は、女性に対し、暴力や貧困の渦中から逃れるために必要な知識を授ける一冊だ。参照するのは西原さん自身の人生。貧しさに起因する家庭内暴力をはじめ、交際相手の無職の男に振り回され、アルコール依存の夫から暴言を吐かれた上、先立たれてしまった過去。同じ思いは、もう誰にもしてほしくない。



『LEAN・IN リーンイン 女性、仕事、リーダーへの意欲』

著者：シェリル・サンドバーグ 川本裕子＝序文 村井草子＝訳

働く女性の必読書！ 幸せとキャリアは両立できる。
この本は、他人から最高のものを引き出すノウハウと既存の情報とを組み合わせるといった彼女の才能が発揮されている。とても優れていて、それでいて正直で、おもしろい本です。



『ソーシャル・ウーマン 社会に貢献できる人になる』 著者：坂東 眞理子

社会と関わり、社会に居場所をもち、社会に貢献できるひとになる。そういったこれからの女性の生き方やあり方を、日本社会のさまざまな課題のなかで考える。社会を読み解く50のキーワードの解説付きです。

酒田市男女共同参画推進センター **ウィズ**

相談 月～金 / 9:00 ～ 16:00

Tel / 0234 (26) 5616 Fax / 0234 (26) 5617

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内

開館 月～土 / 9:00 ～ 22:00、日・祝 / 9:00 ～ 17:00

E-mail / with@city.sakata.lg.jp

